

令和8年度全国学力・学習状況調査 下川町内の状況及び今後の改善方策

小学校数: 1 校、中学校数: 1 校

○教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

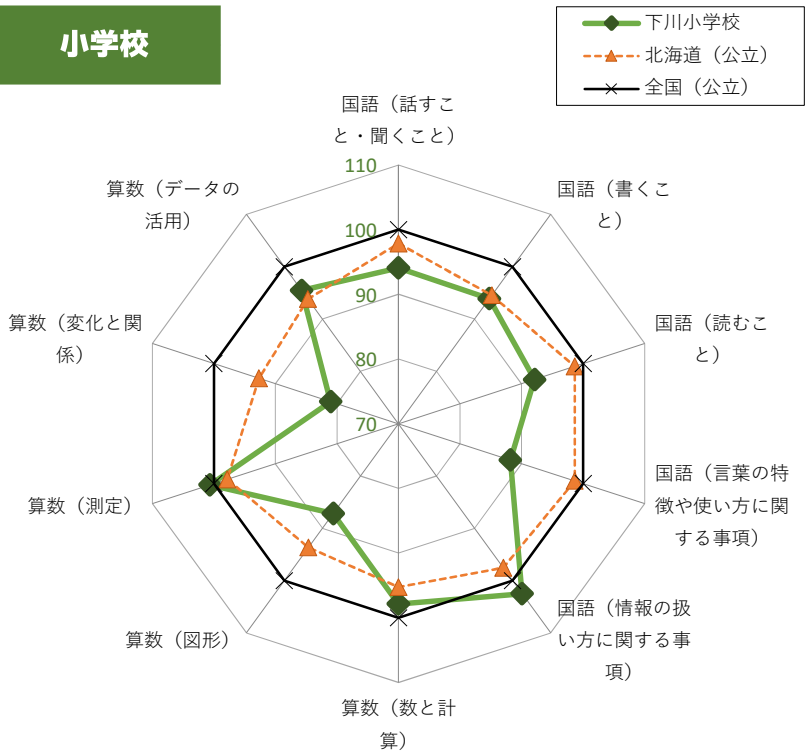
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

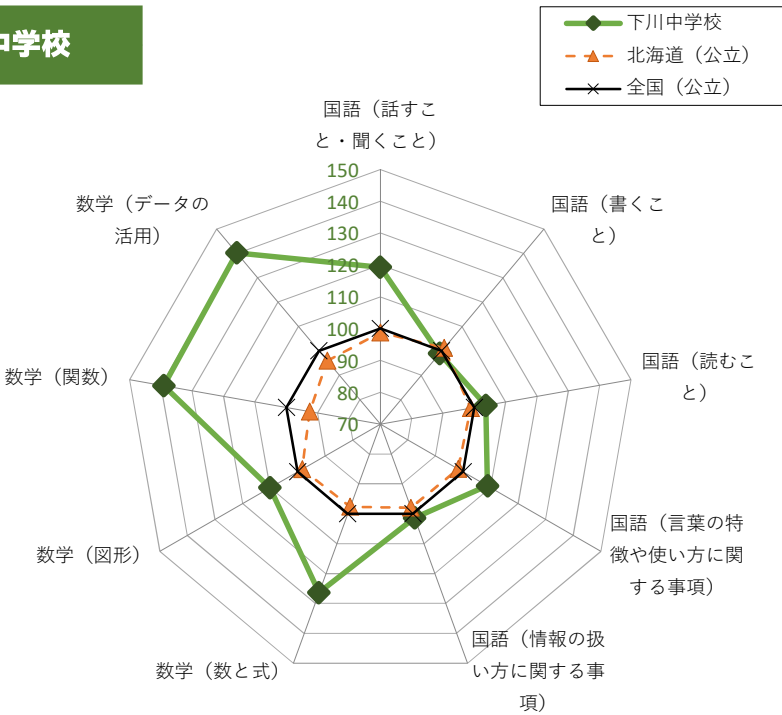
※中学校英語は平均IRTスコア

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
下川町	57	54	69	73	490
北海道(公立)	60	54	63	55	489
全国(公立)	60.9	56.4	63.9	57.0	499

小学校

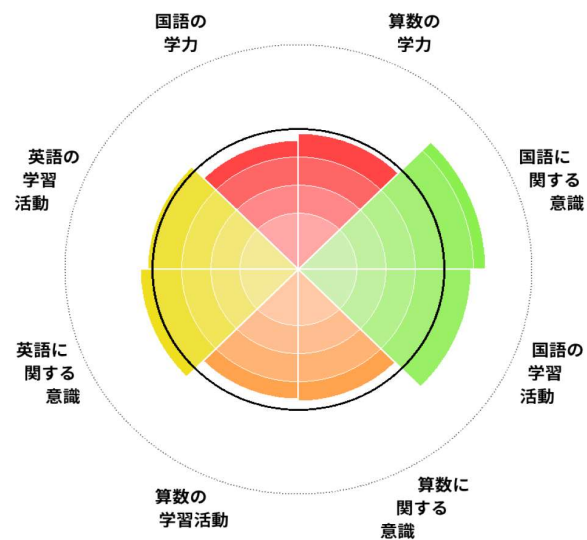


中学校



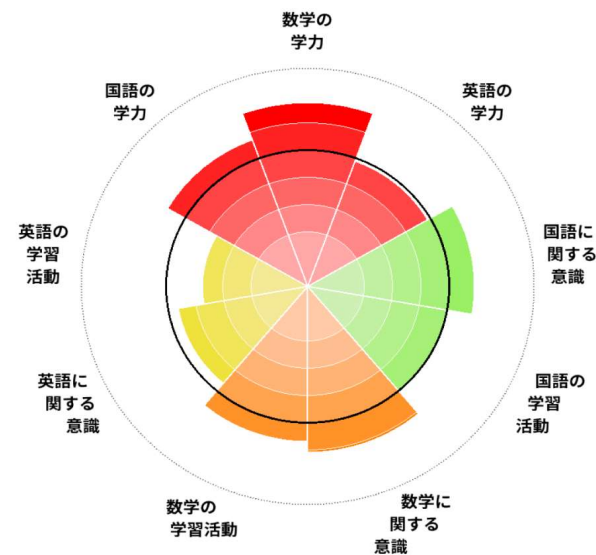
【教科を中心とした学力・学習状況】

小学校



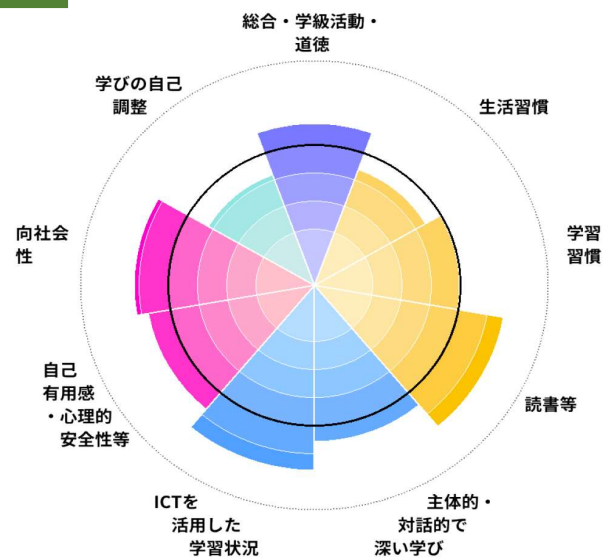
IRTバンド	意味
6	非常に高い
5	高い
4	標準
3	やや課題あり
2	課題が大きい
1	重点支援が必要

中学校



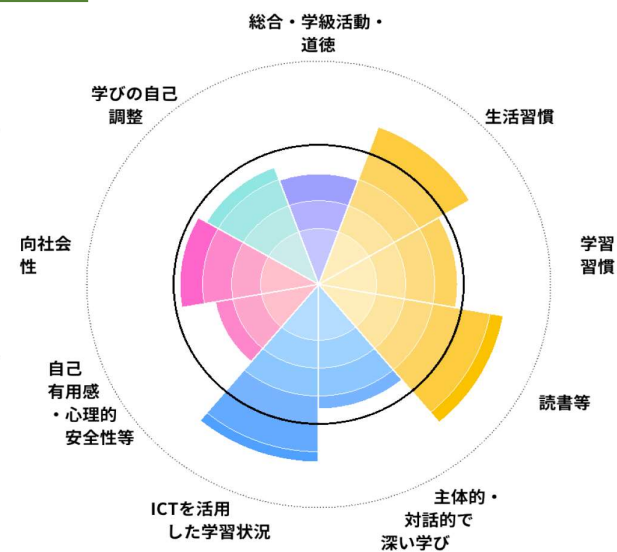
【その他の学力・学習状況(学習習慣・自己有用感等)】

小学校



IRTバンド	意味
6	非常に高い
5	高い
4	標準
3	やや課題あり
2	課題が大きい
1	重点支援が必要

中学校

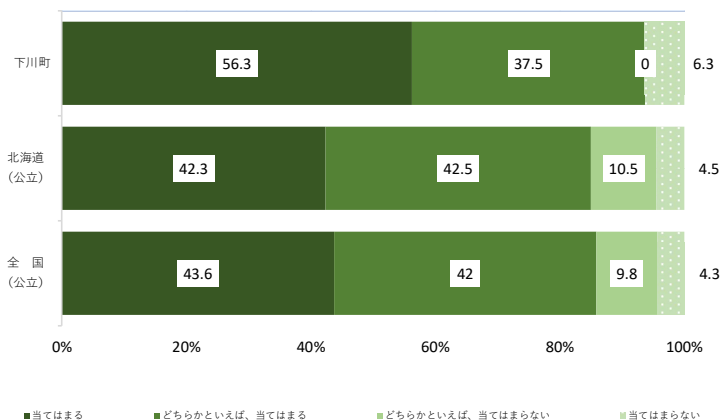


○質問調査の状況

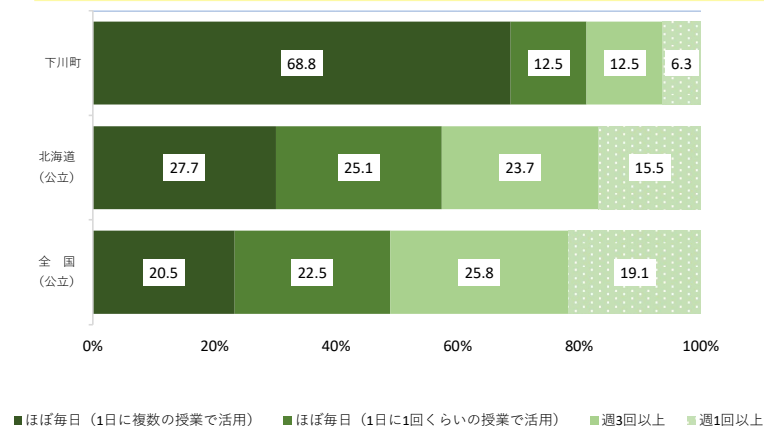
小学校

<児童質問>

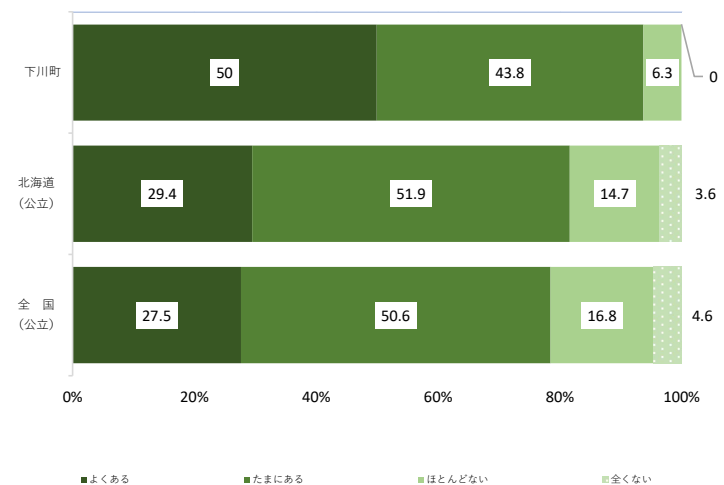
●自分には、よいところがあると思いますか



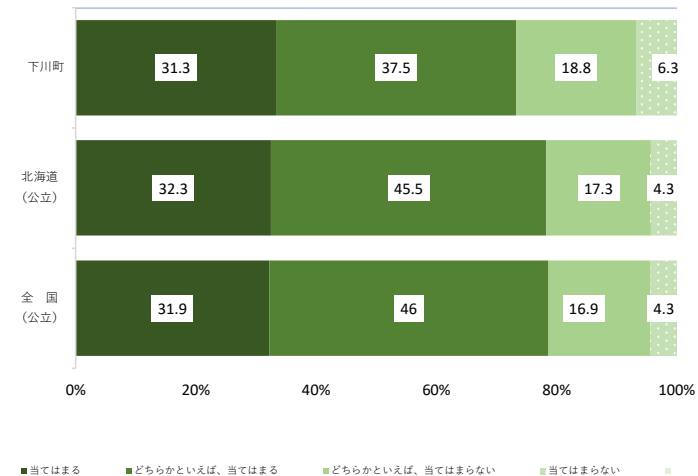
●5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



●5年生までに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこか伝えてくれましたか



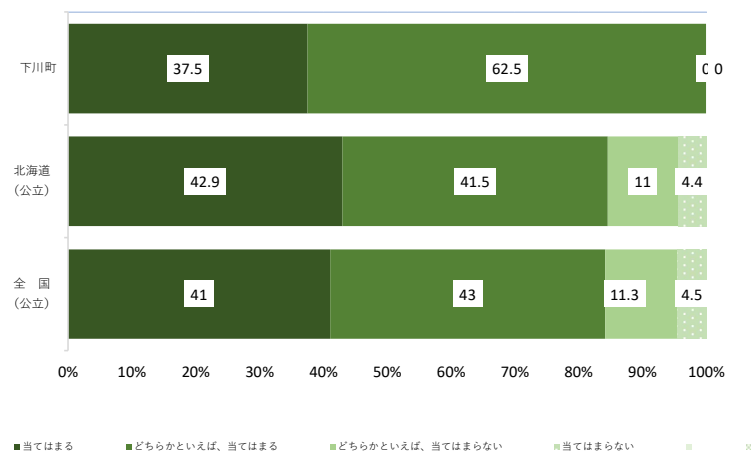
●自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



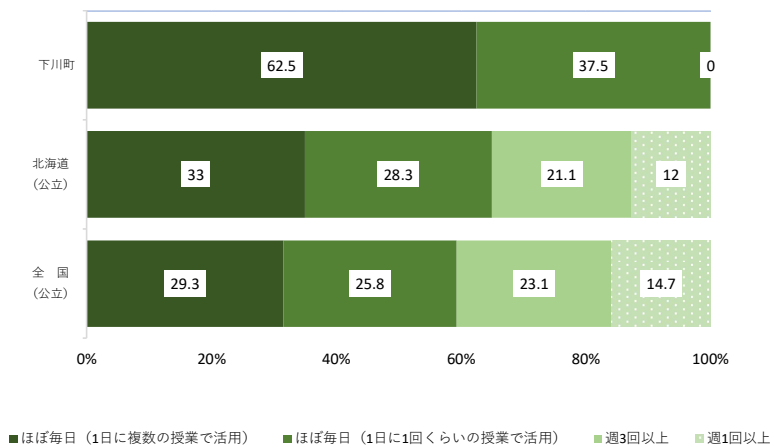
中学校

<生徒質問>

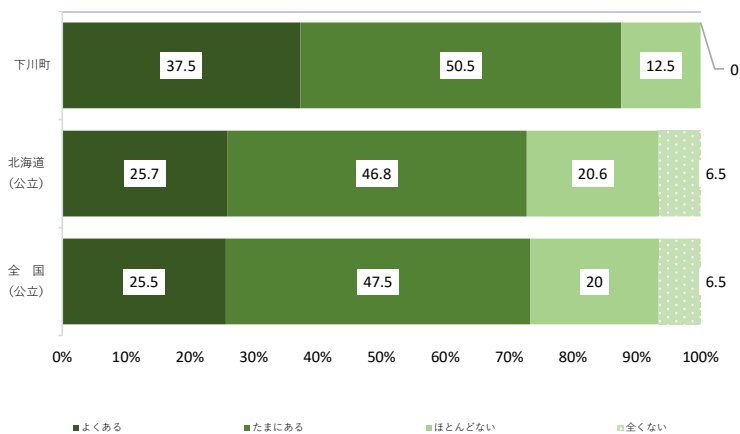
●自分にはよいところがあると思いますか



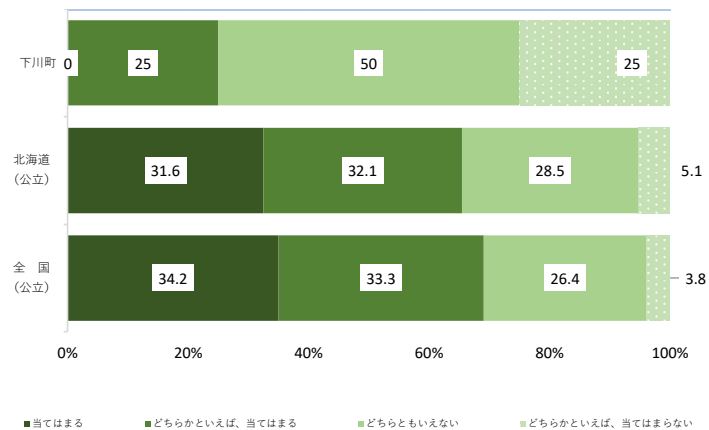
●1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



●1、2年生のときに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこか伝えてくれましたか



●あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか



【調査結果分析】

- ◇小学校においては、国語・算数とも、全国の平均正答率を下回った。中学校においては、国語・数学とも、全国の平均正答率を大きく上回り、英語は若干下回った。領域・学習状況においては、全国を上回っているものが多いものの、小学校では「自分の考えを書き表すこと」「数量の求め方を数や言葉を用いて記述すること」、中学校では「情報を整理し、根拠をもとに説明すること」について課題傾向が見られた。
- ◇小学校及び中学校において、児童生徒一人一人に配備されているタブレットをほぼ毎日有効活用した日常授業の実践継続により、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。また、ねらいを明確化した習熟度別授業の実践継続により、数学の学力向上(下位層の底上げ)が顕著に見られた。
- ◇質問調査では、小学校及び中学校において、「自分には、よいところがあると思う」「国語の授業で先生は、あなたの良いところや前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれている」という回答が全国を大きく上回った。一方、小学校では「自分と違う意見について考えるのは楽しい」、中学校では「人と違う意見を言っても否定されないと思う」の設問において、課題傾向が見られた。

【今後の方策】

- ◆【下川町全体】
日々の校内研修はもとより、学校教育指導訪問、小中一貫教育全体研修会、下川町教育研究会(大会)等を通して、日常授業の質的向上を目指すとともに、多様な児童生徒に応じたICT機器の利活用を一層推進し、学力向上(特に、下位層の底上げ)を図る。また、小中一貫教育学習チームを中心に、各教科における目標を明確にした「主体的・対話的で深い学び」の深化を図る。
- ◆【小学校】
学習過程の中に、自分の考えを表現する時間(国語)、式と言葉で問題を解く時間(算数)を確保するなど、個別最適な学びの質を高める。また、道徳を柱に多面的なものの見方の交流を通して、学びを一層広げ・深める授業改善を推進する。
- ◆【中学校】
各教科において、次の点をポイントに授業改善を推進する。①問題文の条件や根拠に線を引く②学習の要点を一言でまとめる③「考え→根拠→結論」の形で説明する④毎時間、振り返りの時間(書く)を確保する。また、対話を重視した授業の構築を図り、協働的な学びを一層充実させる。

